

2022年度 カリキュラム科目概

文化服装学院教務部

科コード G611	科名 ジュエリーデザイン科1年	単位	2単位
科目コード 305010	科目名 ハンディクラフト	授業期間	通年

担当教員(代表) : 白戸 薫	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 各種のクラフトテクニックを、エンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎的なテクニックを幅広く学習する。
 特に、帽子・バッグ・シューズ・アクセサリー等のグッズ制作に、応用することをイメージしながら実習させる。
 併せて、学習したテクニックが使われている実際の商品などの資料を集め、ブックの形式で完成させる。
 それにより、テクニックだけにとらわれない応用性を身につけさせる。

授業計画=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

*エンブroidアリー

- ・カラーエンブroidアリー 刺しゅうの中で、代表的な色系刺しゅうの基本的なステッチの実習(3)
- ・ステッチの応用 ポリュームのあるステッチの実習 より多種多様なステッチの習得(1)
- ・キャンバスワーク 基本的なステッチを用いながら、織り糸を数えて刺すテクニックの実習(2)
- ・コードエンブroidアリー 紐状のものを布に止め付けていくテクニックの実習(1)
- ・ピース/スパンゲルエンブroidアリー 服飾素材の扱い方の基本テクニックの実習(1)
- ・ミラーワーク ミラーの止め付け方のテクニックの実習(1)
- ・ピース/スパンゲルエンブroidアリーの応用 オリジナルの図案をデザインしモチーフを制作(1)

*布の加工

- ・アップリケ 布を切り貼りするテクニックの実習(1)
- ・ファンシーブリーツ 布を折りたたみ装飾を施すテクニックの実習(1)
- ・スモッキング ベーシックスモッキングのうち柄布(ギンガム)を使ったテクニックの実習(1)
- ・カットワーク 布にステッチをして切り抜き、透かし模様を表現するテクニックの実習(1)
- ・フリル/ギャザー/ヨーヨー ファブリック マニピュレイティング(布加工)の代表的なテクニックの実習(1)
- ・ドロンワーク 糸抜きした部分にかがりを入れ、透かし模様を表現するテクニックの実習(2)
- ・リボンワーク 幅広いテープ状のものを装飾的に加工するテクニックの実習(1)
- ・ラティススモッキング 布を裏面からつまむことによる陰影の表現のテクニックの実習(2)
- ・イタリアンスモッキングレリーフライクな布の表現のテクニックの実習(1)
- ・キルティング 布を部分的にふくらませて、レリーフ状に加工するテクニックの実習(2)
 イタリアンキルティング/イングリッシュキルティング

*レース

- ・マクラメ 紐やコードを手で結んで模様を表現するテクニックの実習(2)

*ブックの制作 学習した技法の総括として、資料と共に構成する(1)

評価方法・対象・比重
 制作物の評価にブックの採点をプラス

主要教材図書	文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧ 手芸
参考図書	
その他資料	各種技法サンプル 講師作成プリント類

授業の特徴と担当教員紹介

ニット企業でのニットデザイナーを経て、フリーでハンディクラフトを生かした作品制作(キッズニット・編みぐるみ・バッグ・ニット帽など小物からインテリアグッズまで)・雑誌等の活動経験をもとに指導。クラフトテクニックをエンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎テクニックを幅広く習得する。帽子・バッグ・シューズ・アクセサリ等のグッズ制作に応用することをイメージしながら実習する授業を実施

記載者氏名 白戸 薫

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GF11	科名	ジュエリーデザイン1年	単位	1単位
科目コード	902000	科目名	西洋美術史	授業期間	後期

担当教員(代表) : 加瀬浩嗣	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

西洋美術の歴史を通して、様々なアーティストの技法や思想、そしてその時代から見える制約や影響などをどのように作品に反映してきたかを考察する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 西洋美術史とは
2. 西洋美術史 (1) 原始美術 古代メソポタミア・古代エジプト・ギリシャ・ローマ
3. 西洋美術史 (2) 中世・・・キリスト教ビザンティン・ロマネスク・ゴシック
4. 西洋美術史 (3) ルネサンス・マニエリスム
5. 西洋美術史 (4) ルネサンス・マニエリスム
6. 西洋美術史 (5) バロック・ロココ・転換期の先駆者たち
7. 西洋美術史 (6) 印象派・象徴派・野獣派
8. 西洋美術史 (7) 課題「好きな西洋画家の作品を考察」
9. 西洋美術史 (8) プレゼンテーション
10. 西洋美術史 (9) キュビズム・抽象主義
11. 西洋美術史 (10) エコール・ド・パリ・アールヌーヴォー・アールデコ・シュルレアリスム
12. 西洋美術史 (11) 現代
13. 西洋美術史 (12) 現代

【評価方法】

課題や発表、出席等

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

西洋美術の歴史を通して、様々なアーティストの技法や思想、そしてその時代から見える制約や影響などをどのように作品に反映してきたかを考察する。

記載者氏名 加瀬浩嗣

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名 ジュエリーデザイン科2年	単位	1
科目コード	科目名 現代ファッション論	授業期間	後期

担当教員(代表)：関谷 麻美	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など
 各メゾンの誕生から特徴、ポリシーなど、ハイブランドを含んだファッションブランドについての知識を深めることにより、専門科目のデザインの幅を広げ、就職後の帽子業界でその知識を活かせるようにする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- ・ファッションクリエイターにてついで知識を深め、そのスタイルのもとを知る。

《 モード史 》

- ・ CHANEL
- ・ DIOR
- ・ SAINT LAURENT
- ・ BALENCIAGA
- ・ GIVENCHY
- ・ SWINGING 60' S
- ・ 70' S London& New York
- ・ 80' S Paris
- ・ 90' S Paris
- ・ 90' S Milano
- ・ 80' S 日本人デザイナーの台頭
- ・ 2000年以降のデザイナーについて
- ・ Hermès

評価方法・対象・比重
 出席、授業態度を重視(レポート提出含む)

主要教材図書
 参考図書
 その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
 ファッション誌編集者・ジャーナリストとしての国内外での豊富な実務経験を生かして、各メゾンの誕生から特徴、ポリシーなど、ハイブランドを含んだファッションブランドについての知識を深めることにより、専門科目のデザインの幅を広げ、ジュエリー業界でその知識を活かせる授業を実施

記載者書名欄 関谷 麻美

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14403	科名	帽子・ジュエリーデザイン科2年	単位	2単位
科目コード	402200	科目名	ジュエリーCAD	授業期間	通年

担当教員(代表) : 雨宮 宏晃	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ジュエリー・アクセサリーのデザインにおいて必須となった3D-CADでのデザインを3DCADソフト『ライノセラス』を使用し、その基本技術を習得する。
また仕事の現場での基本的な流れを知るため、CADデータ作成の前段階である指示書の作成も行う。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. ライノジュエリーバージョンについて	0.5コマ
2. 3Dプリンターでの出力について	0.5コマ
3. CADの基本操作 二次元コマンドの説明 三次元コマンドの説明	3コマ
4. 基本リングの作成 オリジナルアクセサリーのデザイン相談	2コマ
5. 基本リング②の作成 オリジナルアクセサリーのデザイン指示書の書き方	3コマ
6. 基本リング③の作成 オリジナルアクセサリーのデザイン指示書の作成	3コマ
7. 複雑なリングの作成 手書きの三面図の作成 基本コマンドからの展開 ラインの処理、立体化	3コマ
8. 複雑なリングの作成 手書きの三面図の作成 基本～応用	3コマ
9. オリジナルアクセサリーの作成	6コマ
10. ファイルの作成、まとめ	6コマ

【評価方法】

製作物(データ及びデータのレイアウトしたファイル)提出物と、その制作過程における課題の理解度、また出席状況などを総合的に評価する。

比重 製作物 3 : 理解度 4 : 出席状況 2 : 意欲 1

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

アクセサリーの製造・販売企業での商品製作および販売、宝飾加工業務の経験をもとに、ジュエリー・アクセサリーのデザインにおいて3D-CADでのデザインを3DCADソフト『ライノセラス』を使用し、その基本技術を習得する。

記載者氏名 雨宮 宏晃